

# 市民協働事業 相互評価シート

## 市民協働事業の概要

事業名称	とつか区民活動センター運営事業		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 くみんネットワークとつか	
	行政	横浜市	
事業の目的	市民活動、生涯学習活動及びボランティア活動の支援を通して、市民の理解と参画のもとに、区民力の向上と豊かな地域づくりを図る。		
事業の内容	<p>団体と行政が協働でとつか区民活動センター及び戸塚区役所3階情報コーナーにおいて次の事業を実施する。</p> <p>(1) 活動団体のネットワーク化</p> <p>(2) 活動の支援</p> <p>(3) 地域・利用者の声をセンターの運営に反映させる仕組みづくり</p> <p>(4) 場の提供</p> <p>(5) 情報の提供</p> <p>(6) 企画事業の実施</p>		
役割及び責任 分担等	協働契約書第8条の規定に基づき、次に掲げる役割を分担し、その役割についてそれぞれの責任で事業を行なう。		
	事業項目	受託者の役割	委託者の役割
	受託者・委託者が共に果たす役割	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事業運営に関する情報共有</li> <li>2 定期的な共同会議の開催</li> <li>3 第三者（利用者・事業運営評議会等）の意見や提案についての協議・検討</li> </ol>	
	事業全般に関すること	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事業への市民認知度を上げるための広報活動等</li> <li>2 相談スタッフのスキルアップを図るため、スタッフ間の情報共有及び研修機会の提供</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 認知度を上げる広報活動等への協力</li> <li>2 スタッフへの研修情報提供</li> </ol>
	活動団体のネットワーク化	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市民や団体同士が交流する機会や場の提供</li> <li>2 区内、市内の施設や団体等とのネットワーク構築</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 関係機関との連絡調整</li> <li>2 ネットワーク構築及び推進に必要な情報提供</li> </ol>
活動支援 (相談・コーディネート等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 適切な相談対応により市民ニーズや課題を把握</li> <li>2 把握したニーズや課題に応じて次の事項等を行うこと</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市民活動支援のための助成金等の情報提供</li> <li>2 市民ニーズや課題</li> </ol>	

		とによる市民の課題解決の手助け (1) 情報提供 (2) 適切な機関や人につなぐ (3) 活動団体の立ち上げ (4) 新たなしくみの構築	解決に必要な情報を受託者とともに的確に把握し、事業運営に反映
	場の提供 (会議室やミーティングルームの提供)	1 わかりやすく、利用しやすいルールづくり 2 利用しやすい雰囲気づくり	1 施設の利用方法等について受託者と協議し、方針決定
	情報の提供	1 市民活動等に関する情報をより多く収集し、市民や行政に提供 2 広報紙の発行 3 ホームページを開設し、市民活動等の情報提供	1 区広報紙面の確保等、広報機会の協力 2 行政にかかわる情報を受託者に提供、共有し、事業運営に協力
	企画事業の実施	1 活動入門事業の実施 2 ネットワーク事業の実施 3 スキルアップ事業の実施 4 その他活動支援につながる事業の実施	1 事業実施支援
実施期間	平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日		

記入日	平成 28 年 6 月 30 日
記入者	・団体等名： 特定非営利活動法人 くみんネットワークとつか ・記入責任者 氏名： 田辺 由美子 連絡先： 045-825-6773
	・部署名： 戸塚区地域振興課 ・記入責任者 氏名： 卯都木 隆幸 連絡先： 045-866-8416

## 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

### 事業の計画づくり

(協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

#### 【共有できたことや認識に違いがあったこと】

・協働契約書中の仕様書の内容に基づいて年間事業計画を策定し、計画の内容や昨年度からの変更点について事業開始前に共有できた。

#### 【今後改善が必要と思われること】

・とつか区民活動センターの運営における重点項目（平成 27 年度は「地域の施設・機関との連携強化」）や、5 年間の目標「多世代・多機関ネットワーク構築」を見据え、事業計画に具体的に反映できるとよい。  
・センター、行政共に区民ニーズを捉え、共通認識を持って区民活動支援事業を進めていくことを今後も継続していく必要がある。

・自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについて年度初めに共有し、協働で事業を進めることの意義を再確認していきたい。

・事業計画をたてるにあたっては、市民ニーズや課題解決に必要な情報を把握、共有した上で、役割分担や実施方法の検討をさらに深めたい。

### 事業実施

(協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

#### 【共有できたことや認識に違いがあったこと】

・ボランティア入門講座や現場見学バスツアー等、センターの実施事業に行政が参加することで事業内容を具体的に共有することができた。

・行政とセンタースタッフや運営法人との情報共有の機会を定期的に設け、事業の進捗の確認を行なうとともに、互いにアドバイスやサポートを行ないながら協力体制を築くことができた。

・センターのスタッフ会議に行政職員が参加することで、事業やその進捗状況について共有することができた。また、事業を振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができた。

#### 【今後改善が必要と思われること】

・活動団体協力について、活動団体にどこまでセンターが関わって支援していくべきか整理する必要がある。

・参加者の集まりが芳しくない事業について、内容や広報手法の再検討を行なうとともに、人数以外の事業の評価基準についても確認することが必要である。

・センター担当以外の行政職員や団体にも、センターや情報コーナーの存在や役割を知ってもらい、それらの職員や部署・団体等をもっと巻き込んで事業を展開していきたい。

## 事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

- ・平成 27 年度の重点項目「地域の施設・機関との連携強化」という目標に向け、他機関の催しや地域交流イベントに積極的に参加することや、別事業ではあるが「地域施設連携促進事業」で区内の各施設が活動団体や人材の情報を共有していけるような取組を始めたことで、地域の繋がりを強めていく仕組み作りを進めることができた。
- ・「とつカレッジ」や「とつかお結び広場」、「地域づくり大学校」などを一緒に取り組むことで、広く市民の方に事業を知っていただくことができ、参加や来場につながった。さらに、受講者の方に次の活動の機会提供にもなり、地域活動を担う人材を掘り起こすことができた。
- ・区民広間の利用方法の変更等、日々の情報を随時共有し、協力しながら区役所 3 階情報コーナーを円滑に運営していくことができた。
- ・ちらしの配架の可否について、一緒に検討することができた。
- ・助成金講座など、それぞれが単独に開催していた事業を一緒に行うことで、区民にも分かりやすくなり、プログラム内容も充実したものとなった。さらに具体的な活用にあたってセンターも一緒にアドバイスすることができ、活動支援につながった。

## 自由記入欄